

御殿場

2011
No.194号

7

十字の園

(題字 鈴木生二)

発行／総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 宮島克利
〒412-0023 御殿場市深沢1465の1
TEL 0550-83-1999
FAX 0550-82-5189
<http://www.jyuji.ne.jp>
e-mail ; info@g.jyuji.or.jp
印刷／岳麓印刷株式会社

(聖句)喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



御殿場十字の園40周年記念 作品展オープニング

イルド

理事長 平井 章

「何かしたい…、何ができるか…」は東日本大震災の後に皆が思ったこと。アー！それなのに、「永田町」だけが別世界。あきれ返りつつ腹も立ちます。早く何とかしてよ！

十字の園は「何かしよう」と動きました。三月一六日に救援募金を開始。三月二四日要援護者への施設提供の申請。三月二九日被災地への派遣をする職員の募集を開始。そして、震災一か月後からは、仙台を拠点に宮城県沿岸に一〇人乗りワゴン車を持参して順次職員を派遣し、岩手県遠野を拠点に大槌町の入浴介助等に順次職員を派遣して支援しています。御殿場十字の園からも二名が行きました。第一次募金は遠野に、第二次募金は仙台に、復興活動資金のために寄付しました。

つながろう復興への「輪」、つなげよう復興への「道」を合言葉に、人と人が繋がって、職員派遣を継続して、復興への道筋の一端を担いたいものです。一緒にがんばろう！

多様性を認め合い、活かしよう

御殿場十字の園 施設長 宮島 克利

先日、当法人内の研修の一環として「私の思うこれからの福祉」というテーマで三九〇字から四〇〇字以内で原稿にまとめるという課題がありました。短い字数内でまとめるのに苦労しましたが、「これからの福祉」をじっくりと考える機会となりました。とても有意義でありました。

その中で、思ったキーワードが「多様性」であります。二〇〇〇年に介護保険制度が開始され、また、社会福祉事業法が名称を変えて、社会福祉法として改正されました。措置から契約によるサービス利用が始まり、権利としての社会福祉が一層色濃くなってきたときであります。それから、一年が経過いたしました。

私が最初に配属されたデイサービス（通所介護）の御殿場市の推移を見たところ、一九九九年の通所介護の回数は、延べ一万六千五百回程でありました。それが、昨年度では認知症対応型通所介護を含め、五万五千二

百回程にもなっております。三・三倍以上の増加であります。事業所は当施設とその他のサテライト型、他の施設の三箇所であったのが、現在市内事業所数は一八箇所と六倍にもなっております。まさに、これまでの歩みは、権利としてサービスの利用が進み、需給と供給の量的増加であったといえます。

そこで、思うこれからの福祉は「成熟」に向かう福祉であります。「成熟」とは十分に実ること。そこでは、量より質、物から心が重視されます。いわば、一人ひとりを大切にすること。「いのち」と「多様性」を大切にすることです。

三月十一日の東日本大震災では、私たちは改めて「いのち」の尊さについて考えさせられたことでもありました。「いのち」を大切にしたい。いまさらながら、考えていったとき、それは、一人ひとりの個性に着目することであり、同時に多様性を大事にすることだといふ思いが膨れ上がってきました。

一枚橋デイサービスセンター・ひだまりのご案内

松本有里

平成十二年に開設した「たかねデイサービスセンター」が移転することになり、今年四月より新たに御殿場市内の平屋の一軒家をお借りして「一枚橋デイサービスセンター・ひだまり」を開設しました。トイレは車椅子でも使用できるように広めに改修し、お風呂場も手すりをつけて安全性を確保しました。玄関や敷居の段差の解消は大規模な改造・リフォームが必要になるため、現状維持のまま使用するようにしました。そのため皆さんに、自らが意識して危険認知を行っていただくようお願いしました。その結果、意識してつま先をあげて歩かれる方が増えたように思っています。



以前の「たかねデイサービスセンター」の大きな違いは、キッチンと庭が広く

なったことです。昼食の配膳や皿洗い等、皆さんと一緒にやることのできるようになりました。また



庭では日光浴を兼ねて、足腰の筋力の強化にと散歩に努めることもできるように皆さんの活動範囲が広がりました。喜ばしいことに意欲向上、食欲が増進した方もいらっしゃいます。

広い庭に畑を作り、高根婦人会OBのボランティアの方々の支えのもと、じゃがいもや夏野菜を育てています。これからの収穫が楽しみです。またこの庭には、ももから柿の木が植わっていますし、フキや茗荷も生えていますので、



皆さんに四季折々の味覚を味わっていただくことができるのではないかと考えています。ここを利用する皆様に「きてよかった」と心から思っていたことができる場所にしていきたいと考えています。

新職員紹介



勝 又 英 樹

介護の仕事を始め十年経ちます。人とのつながりを大切にして行きたいと思っております。よろしくお願ひします。



八木澤 綾 夏

四月から御殿場十字の園で働くことになりました。一日でも早く仕事を覚え、毎日笑顔絶やさず頑張っていきたいと思っております。

した。

一人ひとりの多様性に応えていくためには、支援の方法も内容もまた多様である必要があります。既存のやり方や法、制度を踏まえ、柔軟性と創造性をもつて、いかにチャレンジしていきけるかが問われてきます。

最近、特養で普段は車椅子を自走されている九二才になられる方から、こんな話を聴きました。「少しでも歩けるように、手すりなど掴まっつて一人でも歩いてみようと思うけど、あまり頑張らないでといわれることがある。私は、頑張らないでと言われることが辛い。私から、頑張るをとつてしまふと何もないから」とのことでした。職員が「頑張らないで」と言ったのは安全に配慮していることと思いますが、とてもドキッとしました。頑張る先には「希望」があり、私から「希望」を取らないでと言われている気が致しました。その後、「私は、いつか富士山に登ってみたい。」と話してくださいました。とても感動です。

多くの住宅では両手を広げて廊下の壁をつたわったり、個別性に着目し、その方

行支援用具など多様に検討できます。しかし、施設となると、鉄筋コンクリート、集団での生活、既存の車椅子が中心といった前提の枠の中に囚われてしまうことがあります。そのため、車椅子で移動がしやすい、躓くものが少ないといったプラス面もありますが、個別性にまだまだ着目できていない思いが致します。もっと多様な支援が出来るのではないだろうか。

同じ頃、施設の作業療法士から、法人内で評価の確立やリハビリテーションにおける特養モデルを築いていく。そのためのプロジェクトチームを立ち上げることを検討しているとの報告がありました。是非、実現に向け取り組んで欲しいと思います。

一人ひとりの多様性は、職員も同じです。常勤、非常勤を合わせ一六〇人ほど（登録ヘルパー一五人含む）おりますが、職員も実に様々です。利用者の方の多様性に応えるためには、職員のその多様性も大事であります。お互いの多様性を認め合い、活かし合える職場を築いていけたらと思います。

御殿場十字の園

開園四十周年記念事業について

事務所 澤田 美恵子

御殿場十字の園はこの四月で開園四十周年を迎え、記念事業として三つの大きなテーマを掲げ、講演会・展示会等を開催いたしました。

一つ目は、増田末智子先生を講師に招いて「認知症を予防しよう、スリーAから学ぶ認知症予防」をテーマに市民を対象として講演

会が行われ、多くの方々にご参加いただきました。講師の明るい人柄とユーモアを交えた講義は、受講者の方々からも大好評でした。

二つ目は、御殿場十字の園の歴史の展示です。十字の園の歴史と、その時代の背景を比べて表にし、過去の行事の写真や、診療

所歴代医師が出版された書籍、句集等が並べられました。

職員

の若き時代の写真も貼られ、現在と過去の違いに大きくとまどったり感じたりしました。業者の協力をいただき、講演会当日には福祉機器の展示も行われました。

三つ目は作品展です。施設利用者、職員から多くの力作が出品されました。

出品作品も、編み物、暖簾、ピース絵、陶芸、和紙細工等様々です。

利用者は職員と共に大作を作成され、来園された方々からも素晴らしいとの感想をいただきました。

作品展会場では、代表者によるセレモニーが行われ、多くの利用者さんが見守る中、華々しくテープカットが行われ、その後作品の前

で写真を撮ったり楽しいひと時を過ごされました。

その他にも介護相談日を設け、専門のスタッフで対応しました。

記念行事の間、展示物や、作品などをご覧下さった地域の方々からも賞賛の声をいただき、職員、利用者にとって大変励みになりました。

この先、御殿場十字の園をご支援下さる方々の声に応えるためにも、職員一同益々精進していきたいと思っております。





ドライブ外出



カナリア



かなりあグループでは、富士霊園へ行ってきました。雨だったので車から降りる事が出来ませんでした。帰りに寄った回転寿司では、皆さん嬉しそうにお寿司を召し上がっていました。普段食べれないイクラやタコ等のネタを口いっぱい頬張っている姿がとても印象的でした。

コスモス



シヨートステイでは、箱根芦之湯フラワーセンターへドライブ外出に行ってきました。フラワーセンターにはきれいな色の花や珍しい花がたくさん咲いており、利用者の方もとても喜んでくださいました。これからも利用者の方々に喜んでいただけたような企画を考えていきたいと思っています。

すみれ



すみれ・すずらんグループで五月二十四日に箱根水族館とつつじを見に行ってきました。水族館では、色とりどりの綺麗な魚たちや水中シヨール、アシカのシヨールを見て楽しみました。ちょうど満開の見頃だったつつじの前で写真を撮ることが出来てよかったです。

ちどり



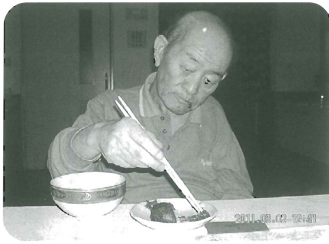
つつじの花見・市内ドライブへ出かけました。少し陽気が悪く肌寒い日でしたが、花見してゆつくり過ごした後回転寿司店に。皆の伸びる手が止まらず、特に多くのお寿司を食べた大食漢男性三人組の顔は、笑顔に輝いていました。また行きましようね。お寿司を食べへに。

ひばり



四月に大富農園に毎狩りに行ってきました。綺麗な洋ランに囲まれてお弁当を食べた後、紅ほっぺ・あきひめ・とちおとめの三種の苺を食べ比べ。どれも完熟とても甘く、おいしかったです。また今回はふじさくらとの合同外出で、普段お話しすることのない利用者や職員との良い交流の機会になりました。

ひまわり



ひまわり・あじさいグループで六月二日にぼたもち・お抹茶パーティーをしました。利用者さんには、もち米にアンコを塗ってもらったり、お抹茶を点てもらいました。みなさん昔の事を思い出しながら和気あいあいと楽しみながら美味しく作ることが出来ました。

ケアハウス

御殿場アドナイ館

鬼塚 歩

夏椿の季節

アドナイ館では、六月下旬頃になると、厨房横の中庭に見事な夏椿が咲き始めます。今年も直径五センチメートル程の白色のなんとも可愛らしい夏椿が咲きました。

二〇〇〇年にアドナイ館が建った当時に植えられ、今では特養の三階まで見上げる位に成長しました。

朝に開花し夕方には落花する夏椿を、アドナイ館の食堂から観察できるので、食事を頂きながら会話も弾みます。

入居者の方々の協力で、庭作りも年々立派なものに成長し、いつも目をを楽しませてくださり本当に感謝です。



四月からボランティア担当となりました。ボランティアさんの多くが、長年に亘って来てくださっていて、皆さん変わらぬお顔が輝いて、はつらつとしていらつしゃるのが印象的です。米寿にして市外からタオルたたみに来てくださる方もいらつしゃいます。ご家族からも「いつてらつしゃい」とやさしく送り出してくださいとのこと。ご本人のみならずご家族の皆様にも頭が下がる思いです。

私達の施設は、この深沢の地に生まれた時からボランティアの皆様が大変お世話になっています。きめ細やかな行動に思わず感動してしまうのも一回や二回ではありません。過去の資料を紐解いてみると、「ああ、このようになボランティアもしていただいたのね。」と驚きと共にひとつひとつが懐かしく思い起こされます。



「ボランティア紹介」
「ボランティア担当に
就任しました。」

神戸 由紀子

御殿場十字の園 平成22年度決算報告

貸借対照表 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	14,370
現金預金	111,355	固定負債	271,983
未収金他	120,433	負債の部合計	286,353
流動資産計	231,788	純資産の部	
固定資産		基本金	175,413
土地	379,297	国庫補助金等特別積立金	480,511
建物	618,698	その他の積立金	40,000
その他の固定資産	59,658	次期繰越活動差額 (内当期活動収支差額)	307,164 (35,292)
固定資産計	1,057,653	純資産の部合計	1,003,088
資産の部合計	1,289,441	負債・純資産の部合計	1,289,441

事業活動計算書 (単位：千円)

摘要	金額
介護保険収入(含利用料)	570,615
その他	203,366
事業活動収入	773,981
人件費支出	517,810
経費	180,690
利用者負担軽減	1,744
減価償却費	41,806
その他	1,656
事業活動支出	743,706
事業活動収支差額	30,275
事業活動外収支差額	1,917
特別収支差額	3,100
当期事業活動収支差額	35,292

平成22年度支える会決算報告書 (単位：円)

収入(献金)の部		支出の部	
現金(76件)	1,279,965	振込手数料	3,940
振込(38件)	356,500	印刷代	519,120
		郵送料	145,850
		消耗品費	18,270
		借入金償還等	949,285
合計(114件)	1,636,465	合計	1,636,465

昨年度も多大なご寄付ありがとうございました。

御殿場アドナイ館 平成22年度決算報告

貸借対照表 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	3,968
現金預金	1,696	固定負債	113,181
未収金他	7,646	負債の部合計	117,149
流動資産計	9,342	純資産の部	
固定資産		基本金	137,257
基本財産	254,450	国庫補助金等特別積立金	118,983
建物	254,450	その他の積立金	15,800
その他の固定資産	71,383	次期繰越活動差額 (内当期活動収支差額)	-54,014 (-6,707)
固定資産計	325,833	純資産の部合計	218,026
資産の部合計	335,175	負債・純資産の部合計	335,175

事業活動計算書 (単位：千円)

摘要	金額
利用者等利用料収入	35,854
補助金収入	18,002
その他	7,783
事業活動収入	61,639
人件費支出	15,334
経費	26,870
減価償却費	19,031
その他	28
事業活動支出	61,263
事業活動収支差額	376
事業活動外収支差額	-384
特別収支差額	-6,700
当期事業活動収支差額	-6,708

献金下さった方々

敬称は略させていただきます

3月分

社団法人玉穂報徳会、岡本克子、加藤喜美子、松永美知子、松島由美子、服部武郎・敏江、日本基督教団名古屋北教会

4月分

鈴木艶子、小野茂、久保田文治、深沢婦人会

5月分

日本キリスト教団岩本教会、鈴木きよ子、西村正子

協力ボランティア

敬称は略させていただきます

3月

中里京子、シャマイム池

御殿場十字の園へのご寄付

3月分	7件	183,000円
4月分	4件	32,000円
5月分	3件	9,000円

平成22年度 累計
114件 1,636,465円
4月～5月分 累計
7件 41,000円

ご献金、ご献品心より感謝申し上げます。

郵便振替口座
口座番号 00870-9-190162
口座名称
社会福祉法人十字の園
御殿場十字の園

ご連絡下されば振替用紙をお送りいたします。

谷、市野はつ、高橋文夫、隆生会書道、静岡県動物保護教会、獣医師会駿東支部、動物ボランティア

厚生年金婦人会、みくりや友の会、二の岡女性の会、中郷館フラダンス同好会、ビューティー山田

木洩れ日朗読の会、AK I美容室、加藤正代、土屋明子、赤十字奉仕団、鈴の会、市婦連福祉グループ、高村恵子、阿久津るな、鈴木真咲

4月

厚生年金婦人会、みくりや友の会、中里京子、レインボーハート、市野はつ、隆生会書道、高橋文夫、木洩れ日朗読の会、加藤正代、土屋明子、A

K I美容室、ビューティー山田、印野はざまの会、市婦連福祉グループ、資生堂リハビリメイク、高根婦人会OB会、鈴の会、若葉会、高根婦人会OB会、なでしこ会、貢宝会、赤十字奉仕団、御殿場教会、芹澤菊枝、渡辺弘子、勝又町子、神保久美子、伊藤洋子、高村恵子、シャマイム池谷

5月

厚生年金婦人会、みくりや友の会、高橋文夫、AK I美容室、中里京子、市野はつ、加藤正代、中曾根靖子、高橋浩子、ビューティー山田、隆生会書道、木洩れ日朗読の会、深沢婦人会、不二聖心温情の会、勝又町子、山本浩子、赤十字奉仕団、ゆうゆう母親クラブ、御殿場教会、芹澤菊枝、静岡県動物保護教会、関根保子、渡辺弘子、市婦連福祉グループ、深沢大正琴、神保久美子、伊藤洋子、鈴の会、シャマイム池谷、高根婦人会OB会

あとがき

この日本における最も古い「かき氷」は、清少納言の枕草子に出てきます。「あてなるもの（上品なもの・良いもの）」の一つとして、金属製の器に刃物で削った氷（たぶん氷室から運ばせた氷でしょうね。）の上に蔦の樹液もしくは甘茶蔓の茎の汁を掛けたと書かれています。氷室の氷のかき氷は望めませんが、この夏に『涼』が得られることを願い、この機関誌をお届けいたします。（山本）

お知らせ

共同募金助成事業「障害者地域活動支援センター視聴覚環境整備事業」でプラズマテレビを設置していただきました。 障害者地域活動支援センター 武藤 繁生



いままで映画鑑賞も番組も、肩を寄せ合って古い暗くなったテレビ画面を凝視していました。大きな画面でDVDを見たい。皆でWiiを使って体を動かして遊びたい。YouTubeも大画面で見たいし、勿論テレビも。皆の想いや希望が『願い』となって、このテレビは来てくれました。韓流ドラマを見て、映画を見て、早速Wiiを繋いで皆でボウリングゲームに興じてしまいました。「外出計画立てて、ビデオカメラ持って下見に行って映してきてよ。それをここで再生して皆で検討できるよね。」と夢がさらに膨らみます。

道具が単なる道具ではなく、夢を繋ぐTOOLとして存在を始めました。皆の想いが共有出来た事に感謝を込め、共同募金受配の赤い羽根シールを貼らせていただきました。

